

Canforo

カンフォロ

No. 26

愛媛県美術館ニュースNo.26 2005

Collections 所蔵品紹介

平成16年度 新収蔵品から

「アール・ヌーヴォー」といえば…優美で、豊かな長い髪の女性像、それを取り巻く植物の流れるような形態。そんなイメージを抱く人は多いのではないのでしょうか。そのイメージを確立させたともいえるアルフォンス・ミュシャの作品が、昨年度収蔵されました。ミュシャは、1894年に初めて女優サラ・ベルナール主演の演劇ポスターを手がけたことによって一躍時の人となりました。そして1899年の《ハムレット》(図1)がサラ・ベルナールのために制作した最後のポスターとなります。わずか5年間で「ミュシャ様式」を確立し、世界にその名を知らしめたミュシャですが、その間に制作された《ロレンザッチオ》(1896年)、《メディア》(1898年)と《ハムレット》計3点が当館に収蔵されました。2mに及ぶ縦長の画面は、その華麗さと迫力でたいへん見ごたえがあります。

アール・ヌーヴォー様式は1900年に開催されたパリ万国博覧会で絶頂期を迎えたともいわれ、その頃フランスに留学していた洋画家・黒田清輝が持ち帰った様々な資料に魅了され、日本画家から図案家へ転身したのが、杉浦非水です。

杉浦非水は松山市出身で、日本のグラフィック・デザインの先駆者として知られています。そのポスター作品48点とポスター原画、水彩画、日本画等14点がまとめて収蔵されました。《三越呉服店 春の新柄陳列会》(図2)は、強い輪郭線と平面的で装飾的な画面処理、女性を中心に描き、モチーフに植物が多用されている点など、アール・ヌーヴォーの影響を指摘することができます。しかしながら和のテイストをしっかりと残していて、大正期の日本人に好意的に受け入れられました。一方、《ヤマサ醤油》(図3)は、江戸時代から続く老舗の醤油会社のポスターですが、明治期に宮内省(現・宮内庁)で用達になった醤油の広告とは思えないほど愛嬌のあるデザインとなっています。いずれも、現在の私たちの眼で見ても古さを感じないものといえるでしょう。

その他、ダチョウの群れをリズム感のある独特の表現で描いた福井江太郎の《流》(図4)、岩波昭彦の《マンハッタン》(四曲屏風一隻/平成12年)など、新進の日本画家の作品も収蔵されました。これからの常設展をお楽しみに。

主任学芸員 中山 公子



図1 アルフォンス・ミュシャ《ハムレット》1899年
リトグラフ 206.4×76.2cm

著作権等の関係により
図版を削除しております

図2 杉浦非水《三越呉服店 春の新柄陳列会》
大正3年 オフセット、リトグラフ
105.6×76.4cm

著作権等の関係により
図版を削除しております

図3 杉浦非水《ヤマサ醤油》昭和3年頃
オフセット、リトグラフ 43.9×77.0cm

著作権等の関係により図版を削除しております

図4 福井江太郎《流》平成13年 岩絵具、墨、木炭、蜜蝋、麻紙 180.0×360.0cm

国立美術館巡回展

「名作とは何か?—近代の日本美術」より

6月24日から7月31日にかけて、当館では国立美術館巡回展「名作とは何か?—近代の日本美術」を開催します。東京及び京都の国立近代美術館が所蔵する日本画・洋画・彫刻、約70点の名作を通して、名作とは何か?を考えていただく機会になれば幸いです。

ここに取り上げるのはその出品作品の一つ、大正期の洋画の名作、岸田劉生の《麗子肖像(麗子五歳之像)》です。

劉生は1891年(明治24)東京の銀座に生まれました。父の吟香は当時を代表する知識人で、劉生もハイカラな環境で早くから美術や文学に親しんだようです。明治末から大正初期にかけて文芸誌の『白樺』が美術の新傾向としてセザンヌやゴッホの後期印象派を紹介したとき劉生がその影響をいち早く取り入れたのは、自然なことだったといえるかもしれません。ところが、やがて彼は後期印象派からの影響を脱し、デューラーなど北方ルネサンス絵画に強く感化された一時期を経て、写実性を徹底的に追求するようになりました。そもそも日本絵画の近代は西洋絵画の写実表現を学ぶことから始まったのですが、劉生は写実をこれまで以上にもっと厳格に行い、対象の「内なる美」を見なければならぬと考えました。いわば明治以来の歩みをもう一度やり直そうとしたわけです。《麗子肖像(麗子五歳之像)》はそうした時期に描かれました。

絵のモデルとなった麗子は劉生の愛娘です。劉生は麗子誕生以来その姿を機会ある毎にスケッチしました。そして5歳に達した麗子を油彩画に描いて以来、劉生が逝去する1929年(昭和4)までの間、油彩・水彩画や日本画など様々な形で麗子の肖像は描き続けられました。この絵の場合、まるで古典絵画のように重厚な感じがあります。劉生が当時デューラー画の印刷物を手に入れて感動し、影響を受けたことを物語ります。麗子が手に持つのは「赤まんま」で、劉生の好きな秋草でした。制作には約20日間を要したといわれます。この《麗子肖像(麗子五歳之像)》は、劉生が愛娘を描いた油絵の第一作目であり、1921年(大正10)作の《麗子像(麗子微笑)》(重要文化財・東京国立博物館蔵)とともに「麗子肖像」連作の中でも屈指の名作として評価されています。

主任学芸員 梶岡 秀一

著作権等の関係により
図版を削除しております

岸田劉生《麗子肖像(麗子五歳之像)》大正7年(1918)油彩 45.3×38.0 cm
東京国立近代美術館蔵

展覧会関連事業

美術講座 「名作とは何か?日本近代美術の名作」

近代日本美術の名作を通して「名作とは何か?」を考えます。

- 6/26・7/10・24 各日曜日 10:30~12:00(全3回)
- 高校生以上・60名
- ※要事前申込、本紙「講座案内」各講座の申込方法を参照

記念講演会

- 7/10(日) 14:30~
- 講師:中林和雄(東京国立近代美術館美術課長)
- お問い合わせ:美術館学芸課tel.089-932-0010

関連
特集展
1

近代日本画の巨匠

会期:平成17年5月18日(水)~7月24日(日)
月曜日休館(ただし、第1月曜日は開館、翌火曜日は休館)

会場:新館2階【常設展示室1】

国立美術館巡回展「名作とは何か?—近代の日本美術」を開催に合わせ、常設展示室1でも特集「近代日本画の巨匠たち」を開催します。明治・大正に活躍した竹内栖鳳・山元春挙・土田麦僊や、昭和・平成まで活躍した杉山寧・東山魁夷など、近代日本の美術界を主導した巨匠たちの日本画を、当館の所蔵品によりご覧いただけます。

主任学芸員 梶岡 秀一



土田麦僊《柳陰》大正10年(1921)絹本着色・6曲屏風1双 各170.2×356.4cm

関連
特集展
2

名作のゆくえ—洋画さまざま

会期:平成17年5月18日(水)~7月24日(日)
月曜日休館(ただし、第1月曜日は開館、翌火曜日は休館)

会場:新館2階【常設展示室2】

企画展示「名作とは何か?」にちなんで、当館のコレクションより洋画、版画の名品をご覧頂きます。西洋からもたらされた油絵の技法で日本の風物を巧みにとらえようとした明治時代の小林萬吾、吉田博らに始まり、画家の個性を強く打ち出してゆく大正、昭和の作品までが一堂に会します。また、郷土出身の柳瀬正夢、畦地梅太郎については、まとまった形で作風の展開をご紹介しますので、近代日本美術の流れに照らし合わせながらその魅力をお楽しみください。

著作権等の関係により
図版を削除しております

畦地梅太郎《風景(小名木川附近)》昭和5年(1930)多色木版・紙 37.5×43.0cm

アトリエ入門 つむいでみよう

●平成16年11月27日(土)・28日(日)
●平成17年2月19日(土)・20日(日)
●平成17年3月5日(土)・6日(日)

美術館アトリエにある紡ぎ車を使い、糸作り講座「つむいでみよう」を開催しました。一人に羊毛400gをお渡しし、2日間。紡ぎは始めてという方が多く、糸車を回すペダル踏みから始め、羊毛や糸車に悪戦苦闘することになりました。静かに糸車が回る音だけが響くアトリエで、羊毛が「毛糸」になるのを素直に楽しまれた方から、慣れない作業に肩こりになった方まで様々でしたが、羊毛が、それぞれに味のある素敵な糸になっていくに従い、徐々に糸車も軽快に回るようになった?!ようです。400gの羊毛を糸にするのに、2日間は短すぎたようで、アトリエでの補講作業が必要になってしまいました。それでも最後まで糸にしてくれた参加者に対し、この場を借りて、感謝と共に本当にお疲れ様でした！ また、とっても素敵なベストを作って見せてくれた方々にも重ねてお礼を。 主任学芸員 田代 亜矢子



普及事業レポート

ミュージアム・ウォッチング

●平成17年
3月26日(土)

美術館の裏側はどうなっているのだろうか？そうした疑問への謎解きを通して美術館に親しんでもらいたい。それが、美術体験講座「ミュージアム・ウォッチング」のねらいです。先日は、作品のない薄暗い展示室から謎解きの探検を始めました。わずかな明りの中に浮かぶ壁や天井のアーチ型の窪みに自然と意識が集まります。あれは何？どうやって移動させるの？なぜ、あの形なの？…普段とは違う空間や物を見て、素朴な疑問が次々と出てきます。話題は、照明や作品搬入の方法、展示作業の工夫や苦勞などへと広がりました。今年度も探検隊を募集する予定です。さあ、あなたも、素朴な「？」を持って、謎解きをしに来ませんか。我々、学芸員がお待ちしております。

普及係長 川上 周二

高い天井の照明を取り付けるときに使用する高所作業車にみんなびっくり!



I N F O R M A T I O N

はじめまして、「みるん?」「するん?」です!

展覧会と講座のスケジュールをご案内していたリーフレットが新しくなりました。展覧会と講座を組み合わせながら、様々な角度から美術を楽しんでいただきたいと思います、2つで1組という考えで、デザインを統一してみました。また、リーフレットの名前も伊予弁で親しく誘いかけるように「みるん?」(展覧会)、「するん?」(講座)となりました。そんな誘いに応じて、リーフレットを片手に気軽に足を運んでみませんか。

おまけ 「するん?」には2回講座に参加すると常設展招待券がもらえるスタンプラリーのコーナーがあります。どんどん参加してみよう!



友の会会員募集

友の会に入会すると、展覧会が無料でご覧いただけるなど、美術館を利用することで、様々な特典が受けられます。また、平成17年度は新たな会員のコースが設けられ、ニーズにあわせてコースが選択しやすくなりました。ぜひ友の会に入会し、美術の楽しみ方を広げてみませんか。



●お問い合わせ先:
愛媛県美術館友の会
TEL089-932-0147

美術館日記

この春、桜の開花とともに、新しい館長、学芸係長を迎え、紹介を兼ね、ひとこと控室を語っていただきました。なお、美術館開館以来昨年度まで館長を務めて参りました原田は名誉館長として就任することとなりました。

岡本康博 館長

ひとりでのんびりと。友達同士でわいわいと。家族皆で和やかに。いつでも、誰にでも、何回でも、足を運んでもらえる。そんな身近な美術館にしていきたいと思っています。



遠藤貢治 学芸係長

名作と語り合い、心が豊かになったり、新しい発見や感動があったりするような、また、愛媛の芸術文化の発信と県民の方々が気軽に集えるような美術館が運営できるように頑張ります。



		5	6	7	8
展覧会					
企画展示室		チャールズ&レイ・イームズ 創造の遺産展 TOPICS.1 5/3(火)-6/12(日)	国立美術館巡回展 名作とは何か? 一近代の日本美術 6/24(金)-7/31(日)		聖徳太子と 国宝法隆寺展 8/13(土)-9/19(月)
常設展示室	1.日本画・書	近代日本画の巨匠たち P.2 5/18(水)-7/24(日)	著作権等の関係により 図版を削除しております		
	2.洋画	名作のゆくえー洋画さまざま P.2 5/18(水)-7/24(日)			
	3.現代美術	色彩のダイナミズム -9/29(木)		真鍋 博 (動物A)	
特別展示室	1.西洋美術	19~20世紀の絵画・彫刻 II 5/18(水)-9/29(木)			
	2.福田平八郎	初夏の風物 5/18(水)-7/18(月)	著作権等の関係により 図版を削除しております		夏・初秋の風物 7/20(水)-9/29(木)
	3.郷土作家	中川八郎 5/18(水)-7/18(月)		福田 平八郎 (初夏)	なぞなぞ美術館 7/20(水)-9/29(木)
ハイビジョン ギャラリー		チャールズ&レイ・イームズの映画 5/3(火)-6/12(日) 10:00~18:00 ※9番組をくり返し上映します。		上映時間 ①10:30 ②13:30 ③15:30 ※プログラムは館内に掲示しています。	
分館		~女の面差し~ 安藤義茂刀画展 5/1(日)-6/6(月)			

		普及事業			
美術講座			● チョマdeコースター 7/27(水)・28(木)29(金) 各13:30~16:00(全3回) 小学生以上の親子・10組	● アトリエ入門 リトグラフに挑戦 A 8/21(日)・27(土) B 8/21(日)・28(日) 各10:00~17:00(全2回) 中学生以上・各5名 ※A・Bいずれかを選択	
美術講座		● 名作とは何か? 日本近代美術の名作 6/26・7/10・24(各日曜日) 10:30~12:00(全3回) 高校生以上・60名	● 大募集!!「法隆寺展」探検隊 A 8/13 B 8/20 C 8/27 (各土曜日) 13:30~15:30 小学3~6年生・各20名 ※A・B・Cいずれかを選択(複数選択可)		
美術体験講座	● くるくるショー 5/7(土) 10:30~12:00, 14:00~16:00 ※この時間帯にいつでも参加できます。	● Tシャツをデザインしよう A 6/4(土) B 6/5(日) 各10:30~16:00・中学生以上 各8名 ※A・Bいずれかを選択	● なぞなぞ美術館 7/23(土) 小学4~6年生・各20名 A 10:30~11:30 B 13:30~14:30 ※A・Bいずれかを選択	各講座の申込方法 往復はがきに希望講座名・郵便番号・住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号を記入し、開講日の2週間前までにお申し込みください。詳しくは、普及係まで。 ※定員に満たない場合は、申込締切後も受け付けています。応募多数の場合は抽選となります。	
	● 空想動物園 5/14(土) 10:30~12:00, 14:00~16:00 ※この時間帯にいつでも参加できます。	● 手漉きのはがきで 暑中見舞い! 6/18(土) 13:30~16:30 中学生以上・10名			
学芸員によるギャラリートーク	毎月第2、第3土曜日 14:30~	●5/14・21・6/11・7/9・16は企画展関連(企画展示室)で開催いたします。			

TOPICS.1

チャールズ&レイ・イームズ 創造の遺産展 5/3(火)-6/12(日)

機能性、生産性と、親しみやすさ、ぬくもりの絶妙のバランスが魅力のイームズ・デザイン。20世紀アメリカを代表するデザイナー、チャールズ&レイ・イームズ夫妻の軌跡をたどります。

(クレスマスカードのための夫妻の写真) © Eames Office, from the collection of the Library of Congress. All Rights Reserved.

著作権等の関係により
図版を削除しております

TOPICS.2

常設展観覧料の変更

- 大人300円(240円)、大学・高校生200円(160円)に観覧料を値下げしました。※()内は20名以上の団体割引。
- 企画展観覧券で常設展示が無料で観覧できます。
※1枚の観覧券で1回のみ有効。※常設展示観覧の際の企画展観覧券利用は、該当の企画展会期以外の期間も有効です。

ご利用案内 ■開館時間:9:40~18:00(入場は17:30まで) ■休館日:毎週月曜日(祝日及び振り替え休日に当たる場合は、その翌日)12/29~1/3

アトリエ 利用時間 9:40~18:00

創作活動のできるスペース、アトリエはどなたでも自由にご利用いただけます。お申し込みは、お電話か、直接来館して予約してください。

- 利用内容:版画・木工・染織・写真・粘土など
- お問い合わせ先:ふれあいアートセンター tel.089-932-0147

講堂・研修室・県民ギャラリー

講演会、研修、作品発表の会場として講堂(定員120名)、研修室(定員56名)、県民ギャラリー(12室)がご利用いただけます。料金等、詳細については、当美術館総務課まで、お問い合わせください。

【交通案内】

- JR松山駅前より道後温泉または市駅前行き市内電車で5分。「南堀端(愛媛県美術館前)」下車、徒歩1分。
- 松山観光港より、リムジンバスで30分。「市駅」下車、徒歩5分。
- 松山空港より車で20分。
※駐車場は、県庁西駐車場を利用することができますが、駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関等のご利用をお願いします。

お知らせ

平成17年4月から6カ月間、
毎月第1月曜日開館、翌火曜日休館
を試行します。



ハトの声(編集後記)

今回の表紙は新収蔵品のミュシャや非水の作品に合わせアール・ヌーヴォー調のデザインに仕上げさせていただきました。デザイナーには、いつも作品や展覧会のイメージをデザインでうまく演出していただき、感謝しています。(M.I.)



愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL 089-932-0010 FAX 089-932-0511
<http://joho.ehime-iinet.or.jp/art/>

